

検査項目	検査目的	基準値(参考値)																								
BMI	<p>B o d a y M a s s I n d e x (肥満指数) の略で、肥満判定の国際基準です。</p> <p>BMI 計算方法 $\frac{\text{体重 (kg)}}{\text{身長 (m)} \times \text{身長 (m)}}$</p>	<table border="1"> <tr> <td>やせ</td> <td>18.5未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通</td> <td>18.5以上</td> <td>25未満</td> </tr> <tr> <td>肥満Ⅰ度</td> <td>25以上</td> <td>30未満</td> </tr> <tr> <td>肥満Ⅱ度</td> <td>30以上</td> <td>35未満</td> </tr> <tr> <td>肥満Ⅲ度</td> <td>35以上</td> <td>40未満</td> </tr> <tr> <td>肥満Ⅳ度</td> <td>40以上</td> <td></td> </tr> </table>	やせ	18.5未満		普通	18.5以上	25未満	肥満Ⅰ度	25以上	30未満	肥満Ⅱ度	30以上	35未満	肥満Ⅲ度	35以上	40未満	肥満Ⅳ度	40以上							
やせ	18.5未満																									
普通	18.5以上	25未満																								
肥満Ⅰ度	25以上	30未満																								
肥満Ⅱ度	30以上	35未満																								
肥満Ⅲ度	35以上	40未満																								
肥満Ⅳ度	40以上																									
腹囲	内臓脂肪の蓄積状態をチェックします。	<table border="1"> <tr> <td>男性</td> <td>85cm未満</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>90cm未満</td> </tr> </table>	男性	85cm未満	女性	90cm未満																				
男性	85cm未満																									
女性	90cm未満																									
血圧	<p>血圧とは、心臓から出た血液が血管内を流れているとき血管壁に加える圧力です。</p> <p>収縮する時に動脈の側壁が受ける圧力を最高血圧(収縮期血圧) 心臓が拡張する時に動脈の側壁が受ける圧力を最低血圧(拡張期血圧)といい、「最高血圧/最低血圧」に表示します。</p>	<p>成人における血圧値の分類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>収縮期血圧</th> <th>拡張期血圧</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>至適血圧</td> <td>未満 120</td> <td>かつ 80</td> </tr> <tr> <td>正常血圧</td> <td>未満 130</td> <td>かつ 85</td> </tr> <tr> <td>正常高血圧</td> <td>130～139</td> <td>または 85～89</td> </tr> <tr> <td>軽度高血圧</td> <td>140～159</td> <td>または 90～99</td> </tr> <tr> <td>中等度高血圧</td> <td>160～179</td> <td>または 100～109</td> </tr> <tr> <td>重症高血圧</td> <td>以上 180</td> <td>または 110以上</td> </tr> <tr> <td>収縮期高血圧</td> <td>以上 140</td> <td>かつ 90以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>(厚生労働省出典)</p>	分類	収縮期血圧	拡張期血圧	至適血圧	未満 120	かつ 80	正常血圧	未満 130	かつ 85	正常高血圧	130～139	または 85～89	軽度高血圧	140～159	または 90～99	中等度高血圧	160～179	または 100～109	重症高血圧	以上 180	または 110以上	収縮期高血圧	以上 140	かつ 90以上
分類	収縮期血圧	拡張期血圧																								
至適血圧	未満 120	かつ 80																								
正常血圧	未満 130	かつ 85																								
正常高血圧	130～139	または 85～89																								
軽度高血圧	140～159	または 90～99																								
中等度高血圧	160～179	または 100～109																								
重症高血圧	以上 180	または 110以上																								
収縮期高血圧	以上 140	かつ 90以上																								
赤血球数	赤血球は肺で取り入れた酸素を全身に運び、不要となった二酸化炭素を回収して肺へ送る役目を担っています。数値が低いと貧血、多いと多血症となります。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>性別</th> <th>基準値</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男性</td> <td>438 ～ 577</td> <td>10 / μL</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>376 ～ 516</td> <td>10 / μL</td> </tr> </tbody> </table> <p>(BML検査基準値)</p>	性別	基準値	単位	男性	438 ～ 577	10 / μL	女性	376 ～ 516	10 / μL															
性別	基準値	単位																								
男性	438 ～ 577	10 / μL																								
女性	376 ～ 516	10 / μL																								
血色素量	血色素とは赤血球に含まれるヘムたんぱく質で、酸素の運搬役を果たします。減少している場合、鉄欠乏性貧血などが考えられます。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>性別</th> <th>基準値</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男性</td> <td>13.6 ～ 18.3</td> <td>g / d l</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>11.2 ～ 15.2</td> <td>g / d l</td> </tr> </tbody> </table> <p>(BML検査基準値)</p>	性別	基準値	単位	男性	13.6 ～ 18.3	g / d l	女性	11.2 ～ 15.2	g / d l															
性別	基準値	単位																								
男性	13.6 ～ 18.3	g / d l																								
女性	11.2 ～ 15.2	g / d l																								
ヘマトクリット	血液全体に占める赤血球の割合をヘマトクリットといいます。数値が低ければ鉄欠乏性貧血などが疑われ、高ければ多血症、脱水などが考えられます。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>性別</th> <th>基準値</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男性</td> <td>40.4 ～ 51.9</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>34.3 ～ 45.2</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(BML検査基準値)</p>	性別	基準値	単位	男性	40.4 ～ 51.9	%	女性	34.3 ～ 45.2	%															
性別	基準値	単位																								
男性	40.4 ～ 51.9	%																								
女性	34.3 ～ 45.2	%																								
白血球数	白血球は細菌などから体を守る働きをしています。数値が高い場合は 細菌感染症 にかかっているか、炎症、腫瘍の存在が疑われますが、どこの部位で発生しているかはわかりません。たばこを吸っている人は高値となります。少ない場合は、 ウィルス感染症、薬物アレルギー 、再生不良性貧血などが疑われます。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3500 ～ 9600</td> <td>mg / u l</td> </tr> </tbody> </table> <p>(BML検査基準値)</p>	基準値	単位	3500 ～ 9600	mg / u l																				
基準値	単位																									
3500 ～ 9600	mg / u l																									

生化学検査		
検査項目	検査目的	基準値(参考値) / (単位)
血清 脂質 検査	LDL-C (悪玉コレステロール) 数値が高いと動脈効果の原因となり、心筋梗塞や脳梗塞などの病気を誘発します。	70 ~ 139 mg / dl (BML検査基準値)
	HDL-C (善玉コレステロール) 血管内に付着する脂肪分を取り除き、動脈硬化を防ぎます。数値が低いと、心筋梗塞、脳梗塞などの病気を誘発します。	男性 40 ~ 80 女性 40 ~ 90 mg/dl (BML検査基準値)
	中性脂肪 体内の脂肪の主な成分でエネルギーとして利用され余った分は、皮下脂肪や内臓脂肪として蓄えられます。肥満、食べ過ぎ、飲み過ぎで数値は上昇し、動脈硬化や脂肪肝の原因になります。	50 ~ 149 mg/dl (BML検査基準値)
肝機能 検査	GOT (AST) GOTは心臓に最も多く含まれ、肝臓以外にも骨格筋などにも含まれるため、どの部位の障害かの判断の手がかりになります。	10 ~ 40 U / L (BML検査基準値)
	GPT (ALT) GOTとGPTは共に肝臓に多く含まれるアミノ酸をつくる酵素で、肝細胞が破壊されると血液中に漏れ、数値は高くなります。肝炎や脂肪肝、肝癌等、主に肝臓の病気を発見する手がかりになります。	5 ~ 45 U / L (BML検査基準値)
	γ-GTP アルコールに敏感に反応し、アルコール性肝障害を調べる指標になります。	男性 79以下 女性 48以下 U / L (BML検査基準値)

生化学検査						
検査項目	検査目的	基準値(参考値) / (単位)				
糖 代 謝 検 査	空腹時血糖値	空腹時の血液中のブドウ糖の数値(血糖値)を調べ、糖尿病をチェックします。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"><tr><td style="text-align: center;">70</td><td style="text-align: center;">～</td><td style="text-align: center;">109</td><td style="text-align: center;">m g / d l</td></tr></table> (BML検査基準値)	70	～	109	m g / d l
	70	～	109	m g / d l		
HbA1C グリコヘモグロビンA1C	過去1か月から2か月の血糖値の指標となります。糖尿病の確定診断のし表の用いられたりします。	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"><tr><td style="text-align: center;">4.6</td><td style="text-align: center;">～</td><td style="text-align: center;">6.2</td><td style="text-align: center;">%</td></tr></table> (BML検査基準値)	4.6	～	6.2	%
4.6	～	6.2	%			
腎 機 能 検 査	尿素窒素	体内で蛋白質が分解されてできる最終代謝産物で、腎機能が低下すると高値になります。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"><tr><td style="text-align: center;">8</td><td style="text-align: center;">～</td><td style="text-align: center;">20.0</td><td style="text-align: center;">m g / d l</td></tr></table> (BML検査基準値)	8	～	20.0	m g / d l
	8	～	20.0	m g / d l		
	クレアチニン	筋肉内の物質からつくられ、尿から排泄される腎臓の排泄能力をチェックします。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"><tr><td style="text-align: center;">男性</td><td style="text-align: center;">0.65～1.09</td><td rowspan="2" style="text-align: center;">m g / d l</td></tr><tr><td style="text-align: center;">女性</td><td style="text-align: center;">0.46～0.82</td></tr></table> (BML検査基準値)	男性	0.65～1.09	m g / d l	女性
男性	0.65～1.09	m g / d l				
女性	0.46～0.82					
尿酸	尿酸は、プリン体が分解してできた老廃物です。代謝異常により濃度が高くなると、一部が結晶化し関節にたまと痛風です <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"><tr><td style="text-align: center;">男性</td><td style="text-align: center;">3.6～7.0</td><td rowspan="2" style="text-align: center;">m g / d l</td></tr><tr><td style="text-align: center;">女性</td><td style="text-align: center;">2.7～7.0</td></tr></table> (BML検査基準値)	男性	3.6～7.0	m g / d l	女性	2.7～7.0
男性	3.6～7.0	m g / d l				
女性	2.7～7.0					
尿 検 査	尿蛋白	尿中に排泄される蛋白を調べ、腎臓病などの判定に用います。激しい運動の後や過労状態の時発熱時などにも高くなります。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"><tr><td style="text-align: center;">(-) ～ (±)</td></tr></table> (BML検査基準値)	(-) ～ (±)			
	(-) ～ (±)					
	尿糖	尿中に糖が出ているか検査します。陽性の場合には糖尿病、膵炎、甲状腺の機能障害などが疑われます。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"><tr><td style="text-align: center;">(-) ～ (±)</td></tr></table> (BML検査基準値)	(-) ～ (±)			
	(-) ～ (±)					
尿潜血	尿中に血液が出ているか調べます。陽性の場合には、腎臓病や尿路感染症が疑われます。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"><tr><td style="text-align: center;">(-)</td></tr></table> (BML検査基準値)	(-)				
(-)						
ウロビリノーゲン	尿中のウロビリノーゲンの増減を調べれば「肝臓や胆道系の異常」を知ることができます。胆道閉塞で陰性になり、肝臓の疾患で陽性になります。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"><tr><td style="text-align: center;">(±)</td></tr></table> (BML検査基準値)	(±)				
(±)						